

普天間中学校！第二学期のスタートです！

新しい学校教育の方向性が文部科学省より示されました。キーワードは「多様性」、「生きて働く力」「コミュニケーション能力」等です。様々な人や物やことと出会い、気づき、考え、考えたことを行動化することで、体験的に物事理解し、予測できにくいことをよりの確に判断する力に繋がります。そして、今、学んでいることが将来、どのように個々の生徒の皆さんにとって役立つ知識や技能となるのかが今後の教育の視点となります。

こんなにつながる学校と会社の共通点

普天間中学校では四つの自立を目指しています。

- ①経済的自立・・・将来、職業に就き、収入を得ること。退職後は社会に貢献することです
- ②精神的自立・・・物事を判断する際、出来るだけ自分の直感や理性で判断出来ることです
- ③生活面での自立・・・日常生活を他の人に依存せず（炊事・洗濯等）自立できることです
- ④（性差に関係なく相互に人権を尊重する）性的自立することです。ジェンダーフリー

学 校		会 社
8時10分登校	始 業	遅刻は絶対ダメ 解雇
本日の日程、連絡事項 健康状態の確認	朝の会	仕事内容確認 健康確認
話をよく聞き、考える 提出期限を守る 係活動・当番活動	授業と仕事	段取りを考え責任を持って行動 上司から学ぶ、期限は必ず守る 努力する、整理整頓
明日の予定を確認	帰りの会・終業	仕事結果を報告・連絡・相談 日報の記録、道具整頓 翌日の予定確認
家庭学習・翌日の準備	終業後	仕事の評価と対処法を考える 次の仕事を考える
他者との良好な関係 思いやり 尊敬語・謙譲語	あいさつ・言葉 づかい	取引先に大きな影響 できない人は → 雇わない
指定制服の正しい着こなし 社会生活上の働き 校則を守る	身だしなみ	会社の印象は社員の第一印象次第。 見た目信頼を勝ち取る 印象を悪くする社員は契約に悪影響を与える 社訓・法律×→解雇

中学校は人生の中でも特に、大きな分岐点となります。これからの人生の「なりたい自分づくり」の大切な期間です。学校生活と社会生活は共通点が多く、学校生活を安定して送ることが今後の社会生活や人生において大きな影響があることをご理解いただけたと思います。(表)

本校に秋田県から派遣されている国語教師の見上司（みかみつかさ）先生、毎時間、授業の度に、一人ひとりの生徒と丁寧に接し、生徒の声を引き出しています。このことが EDUCE（引き出す）という EDUCATION（教育）の本当の意味です。生徒の良いところを引き出し、伸ばしていく先生は他の先生の良き見本となります。生徒にとってはまさに「重々無尽の縁」也。